御堂筋の会
Midosujinokai
私たちは、ミナミ御堂筋の沿道企業体です。

定例会ニュース

（2022年6月）

「ミナミ御堂筋の会」は、ミナミの御堂筋沿道の不動産オーナーが連携し、「世界の御堂筋」をめざして、まちのあり方を提案し、実現に向けて働きかける団体です。

vol.72

1. 道路空間再編事業について　大阪市建設局様より

御堂筋の道路空間再編は、1期整備区間、2期整備区間と事業が進捗する中、道頓堀橋北詰～長堀通までの3期整備区間で側道が閉鎖され、幅広く、歩きやすい歩道へ生まれ変わります。さらに、難波交差点、なんば駅前広場の整備も始まります。今回の定例会では、関係する事業について、大阪市建設局様よりご説明いただきました。

難波交差点

整備コンセプト❶ 安全・快適な通行環境の創出
- 交差点付近の歩道を張出し、千日前通の横断距離を短縮（交差点のコンパクト化）
- 歩行空間を拡げ、歩行者と自転車の錯綜を解消
- 駐輪場を再配置し、自転車駐輪環境を改善

整備コンセプト❷ 地域・商店街などの回遊性の向上
- 歩行空間を拡げ、歩行者が回遊しやすい環境を整備
- 側道歩行者空間化された御堂筋との連携強化

整備コンセプト❸ 道路景観の向上
- 中央分離帯の美装化、景観に配慮した、自転車駐輪場柵を整備
- パーキングスペースを再配置し、駐停車需要を整序化（荷捌き需要への適切な配置を実現）

主な予定
- 南東角の改修：6月下旬
- 交差点の仮設バリケードによる南側車線の絞込み：6月下旬～7月上旬頃
- 交差点の横断歩道位置、信号等の切り替え：7月末頃

8月末頃 整備完了予定

なんば駅前広場の関連工事

● なんば駅周辺空間再編　施工ステップ

御堂筋、なんば駅前広場周辺、なんさん通り、パークス通り、蔵前通りにおいて、タクシー乗場の移設、バス停の仮設化、荷さばきの移設、電線共同溝工事などの準備工事・工事が行われ、それに伴って適宜、車両通行止め等の対応が取られる。

意見

○1期整備区間で、かなりのスピードで走行する自転車を見る。交差点付近など、自転車と歩行者が錯綜するポイントがあるので、安全性を確保できるよう検討してほしい。

○なんば駅前広場は完成すればイベントに活用できるのか？
→運用管理については、イベント活用を見すえ、検討や議論をしているところである（建設局）
→検討内容・状況は共有していただけるとありがたい（事務局）

○イベント活用できるなら、ステージに使えるものがあると良い。

▲ミナミ御堂筋における道路空間再編事業、関係する事業
（公表資料等をもとにミナミ御堂筋の会で作成）

2. 2期・3期の整備状況と、社会実験「御堂筋チャレンジ2022」

これまで当会は、市の道路空間再編事業と連携しながら、道路空間の創造的な利活用に向け、社会実験を実施してきました。今年の社会実験では、2期整備区間の道路空間再編工事完成や、3期整備区間で市が実施する、側道閉鎖による交通環境影響等の検証に合わせ、官民連携による御堂筋の沿道検証及び利活用事業に取り組みます。

第1弾：2017
モデル区間整備・御堂筋完成80周年をきっかけに、将来の魅力ある滞在空間を可視化

第2弾：2020
歩行者利便増進道路指定を念頭に区域指定・整備の検証と、道路協力団体による継続利活用の実験

第3弾：2021
道路協力団体による利活用拡大と、周辺・なんば駅前広場とも連携した歩行者回遊データの検証

第4弾：2022（検討中）

交通検証等に伴う空間利活用社会実験「御堂筋チャレンジ 2022」実施概要

新橋
3期整備区間
道頓堀橋北詰
2期整備区間以南
難波
難波駅前広場

今後の整備へ影響検証＋道路協力団体による利活用の検証

▶10月の側道閉鎖に伴う交通環境の影響検証等とあわせて道路協力団体として将来の利活用の検証を官民連携で行い今後の整備や利活用のあり方へ反映する。

2021の社会実験を踏まえたベンチ等の検証と、御堂筋等と連動した回遊性創出等への検証

▶2021の成果を踏まえ、道路空間再編工事完成とともにベンチ等の検証を行い、継続した管理運営方策へとつなげる。

▶過去の社会実験の成果を踏まえ、御堂筋・広場とも連携した東西方向への回遊の創出や放置自転車対策などを、地域と連携して実施し、その効果をデータ取得等を通じて整備後の効果を検証する。

3. 会員による事業プレゼンテーション

会員による、事業プレゼンテーション第１回目は、コカ・コーラボトラーズジャパン様、松竹様にご登壇いただきました。
今後も会員からのプレゼンを開催していく予定です。ご希望の方は、事務局までご連絡ください。

大阪・関西万博支援自販機〔コカ・コーラボトラーズジャパン武村 様〕

- 同社は、大阪・関西万博を象徴・代表するプロジェクトであるテーマ事業「シグネチャーパビリオン」のゴールドパートナーとして協賛。
- 機運醸成の面では、「大阪・関西万博支援自販機」等で参画協業。自販機の売上の一部が万博協会への寄付になる。

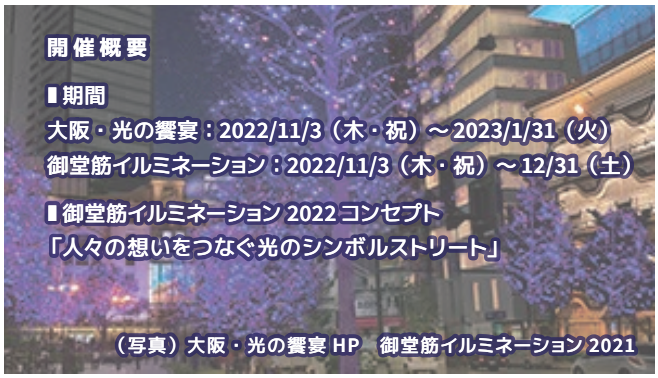
ＶＸＰ（ばーちゃるＸプロジェクト）〔松竹 李様〕

- VXP(ばーちゃる X プロジェクト) とは、松竹・移動体通信事業者・電機メーカー等による共創の取組みで、X（街と街を構成する施設）のリブランディングや経済価値の向上を目的とした施策を開発。
  技術を活用し「エンタテインメント × テクノロジー」の実証を重ね、「接触機会の拡大と新しい体験の拡張」の手段の開発を目指す。
- 心斎橋角座の実証では、「お笑い × テクノロジー」の２つの施策からリブランディングと経済価値向上を目指す。
  - 公演の盛り上げソリューション施策
    →テクノロジーを活用した公演
  - 認知ソリューション施策
    →移動体通信事業者のデータを活用した広告配信等を実施することで今までリーチできていなかった新たな顧客を獲得

4. 御堂筋イルミネーション

「大阪・光の饗宴」のコアプログラムである御堂筋イルミネーション 2022 の開催日程等が決定したことを受け、公益財団法人大阪観光局 凌様より、概要や新企画等をご説明いただきました。当会でも、御堂筋イルミネーションと連動するより魅力的な事業の展開を目指すことを確認しました。

意見
○イルミネーションをビル上階から見渡す企画など、ビルオーナーならではのプレミアムなコンテンツを検討したい（事務局）



（写真）大阪・光の饗宴 HP　御堂筋イルミネーション 2021

5. その他協議・報告事項

(1)2期整備区間沿道の集まり(6/27)

今年秋頃に予定の、2期整備区間の道路空間再編事業の完成に向け、沿道の会員より「2 期整備区間完成を機に、沿道の維持管理、美しい道づくりを考え、活動したい」とご提案があったことから、6/27 に当該沿道の会員で集まり、今後のアクションについて意見を交わしました。

(2)道頓堀川万灯祭2022への協賛

道頓堀川万灯祭への協賛は、今年度予算に基づき、昨年と同様、提灯を献灯いたしました。定例会では、道頓堀商店会 谷内事務局長より御礼のお言葉を賜り、協賛金の一部はウクライナ難民支援に寄付されたことをご報告いただきました。

(3)御堂筋パークストリート推進会議

2024 年に「世界ストリート国際会議」がシャンゼリゼで開催されるのに先立ち、今年、シカゴのメインストリート マグニフィセントマイルの関係者が来日することから、御堂筋との交流の場が設けられることとなりました。
詳細が決まり次第、事務局より報告いたします。

(4)「大阪ミナミ夏祭り2022＆中央区にぎわいスクエア」の開催

7/16(土)・7/17(日)、大阪・関西万博開催 1000 日前の記念イベントとして開催。とんぼりリバーウォークでは粉もんや地ビールのブース等が、水上ステージでは「万博クイズ」やコスプレダンスイベント等が展開される予定です。

定例会参加者

【正 会 員】 湯川 ((株)KJRマネジメント)、加賀 (三津寺)、奥村 ((株)泉屋商店)、福崎・高橋 ((株)スポーツタカハシ)、藤本 ((株)播重)、都 ((株)理想実業)、池田 ((有)泉屋)、真鍋 (Recoord/平川商事(株))、富永 ((株)三信)、藤丸 (光明興業(株))、吉田 ((株)ベルコ)
【賛助会員】 武村 (コカ・コーラボトラーズジャパン(株))、藤田・李 (松竹(株))、杉山 (大日本印刷(株))、安田 (東京建物(株))、島田・鈴木 (東京建物不動産販売(株))、小林 (西尾レントオール(株))、長谷 (野村証券(株))
【オブザーバー】 凌 ((財)大阪観光局)、榊原 (大阪市建設局)、谷内 (道頓堀商店会)
【事 務 局】 中塚・絹原・竹林 ((株)地域計画建築研究所 (アルパック))

次回定例会のお知らせ　2022年 7月25日 (月) 16：00～ （難波御堂筋ホール予定）

【発行】一般社団法人 ミナミ御堂筋の会　URL：https://minami-midosuji.net/　Facebook：https://www.facebook.com/minami.midosuji
【問い合わせ先】一般社団法人 ミナミ御堂筋の会 事務局（株式会社地域計画建築研究所　大阪事務所 内　【担当：絹原・竹林】）
〒541-0042　大阪市中央区今橋3-1-7 日本生命今橋ビル10F
TEL：06-6205-3600　FAX：06-6205-3601　E-mail：minami-midosuji@arpak.co.jp